ロータリー財団

参照ガイド

The Rotary Foundation

目次

ポリオプラス 1
- ポリオプラス補助金 1
- ポリオプラス・パートナー補助金 1
- 関連リソース 2

ロータリー平和フェローシップ 3
- 関連リソース 3

補助金 4
- 地区補助金 4
- グローバル補助金 4
- 災害救援補助金 5
- 重点分野 5
- 参加資格認定と資金管理 6
- 補助金の申請プロセス 6
- 報告要件 6
- 関連リソース 7

ロータリー学友 8
- 関連リソース 8

財団の資金 9
- 年次基金（シェア） 9
- 恒久基金 10
- ご寄付の方法 11
- 関連リソース 14

財団での認証 15
- 個人の認証 15
- クラブの認証 19
- 認証ポイント 21
- 関連リソース 21

一般リソース 23
- My ROTARY 23
- 出版物の注文 26
- お問い合わせ 26
- 地区とゾーンのためのリソース 26
- ロータリー事務局 27

本ガイドの金額表示はすべて米ドルです。

ロータリー財団

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

The Rotary Foundation

ポリオプラス

1985年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目としてきました。世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー団体との協力を開始した1988年には、125カ国で35万件以上の発症が確認されていましたが、以来、約30億人の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.9％減少しています。

> 2019年現在、ロータリーはポリオ根絶活動に20億ドル以上の資金（ビル＆メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを含む）を投入しています。

ポリオプラス補助金

ポリオ常在国およびウイルス流入のリスクがある国を中心に、ポリオ根絶活動に充てられ、予防接種キャンペーンとポリオウイルス伝染の監視活動を支援しています。

ポリオプラス補助金は、ポリオプラス基金およびDDF（地区財団活動資金）の寄贈によって調達されます。

提案書は主に、世界保健機関（WHO）やUNICEF（国連児童基金）など主な活動実施者が提出します。管理委員会が定例会合において、ポリオプラス補助金の申請を審査します。

ポリオプラス・パートナー補助金

高優先国のポリオプラス委員長により提出された、緊急の社会動員や監視プロジェクトを支援します。補助金の申請は、定期的に審査され、ポリオプラス基金から資金が提供されます。

関連リソース

- 「End Polio Now」ニュースレター：ポリオ根絶の取り組みに関する最新情報とニュースを隔月で紹介。
- 「End Polio Now」ポスター：End Polio Nowのロゴとグラフィックが載った資料。
- 「End Polio Now」ピン：End Polio Nowのロゴが付いた襟ピン。
- 「End　Polio　Now：歴史をつくるカウントダウン」パンフレット：ポリオ根絶活動への寄付が3倍になるビル＆メリンダ・ゲイツ財団とのパートナーシップについて紹介。
- アドボカシー用のちらし：ポリオを根絶する理由を紹介。
- アドボカシー用ポスター：ポリオを根絶する理由を紹介。

endpolio.org/jaでは、さらに多くの情報・資料を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ロータリー平和フェローシップ

世界各地に現在6つあるロータリー平和センターでは、国際関係、平和研究、紛争解決といった関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決分野の専門能力開発修了証の取得を目指す学生に、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供しています。

フェローシップには、フェローシップ期間中の旅費、学費、宿泊費、食費、承認されたインターンシップ、その他限られた費用が含まれます。その資金は、地区からのDDF寄贈、冠名指定寄付、恒久基金、WF（国際財団活動資金）からの資金で支えられています。

地区は、国際レベルでの選考に向け、7月1日までにロータリー財団に申請書を提出します（申請のためにDDF配分や寄付を行う必要はなく、申請書は何人分でも提出可能）。この日までに地区が申請書の審査、面接、推薦書類の作成を終えられるよう、申請者本人は5月31日までに地区へ申請を提出する必要があります。毎年、修士号プログラムで学ぶ50名、専門能力開発のための修了証取得コースで学ぶ50名までのフェローが選ばれ、管理委員会が承認した申請者には、11月15日までに通知が行われます。

関連リソース

- 「Peace in Action」ニュースレター：ロータリー平和フェローシップに関する最新情報とニュースを隔月で紹介（英語のみ）。
- ロータリー平和フェローシップのパンフレット：申請候補者向けにプログラムとフェローシップの概要を紹介。
- 「平和の願いはきっとかなう」パンフレット：ロータリー平和センターの概要と冠名基金の機会を紹介。
- ロータリー平和センターのピン：ハトとロータリーのロゴがデザインされたピン。
- 平和推進地区になろう：地区が平和フェローシップを支援する方法を説明した資料。

rotary.org/ja/our-programs/peace-fellowshipsからさらに多くの情報とリソースをご覧ください。

補助金

ロータリー財団の補助金は、ロータリー会員が実施するさまざまな奉仕プロジェクトのほか、奨学金や職業研修を支えています。

地区補助金

地区補助金は、一括で地区に支払われ、地元や海外のニーズに取り組むために使用できる補助金です。地区は毎年、ロータリー財団の使命を支える地区やクラブの活動（職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、青少年プログラムを含む）を支えるために、使用可能なDDF（地区財団活動資金）の50パーセントまでを地区補助金として申請できます（一年に一口のみ。9ページの「年次基金（シェア）」も参照）。

グローバル補助金

グローバル補助金は、戦略的な観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金です。大規模で国際的な人道的プロジェクト、職業研修チーム、奨学金（修士課程または博士課程）のために活用でき、重点分野（5ページを参照）のいずれかにおいて、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められます。また、複数の活動を組み合わせて実施することも可能です（例えば、1口の補助金で職業研修チームとそれに関連する人道的プロジェクトを実施する、など）。

「持続可能性」の定義は組織によって異なりますが、ロータリーでは「補助金資金がすべて使用された後にも、地域社会の人びとが自力で地元のニーズを満たしていけるよう、長期的な解決策を提供すること」とされています。

グローバル補助金は、国際財団活動資金（WF）によって財団から支給されるもので、支給幅は15,000～400,000米ドルです。財団は、現金拠出に対しては50パーセント（半額）、DDFの寄贈に対しては100パーセント（同額）を上乗せして支給します。グローバル補助金の場合、プロジェクトの予算は最低30,000ドルである必要があります*。グローバル補助金の活動は、2つのクラブまたは地区が提唱し、活動の実施国にあるクラブ／地区と、実施国外にあるクラブ／地区が提唱者となります。

プロジェクトを計画する際、提唱者は実施地の切迫したニーズを把握し、提唱クラブや地域で利用できるリソースを調べるための徹底した地域社会調査を行う必要があります。また、プロジェクトの構成について知らせる調査の結果を、グローバル補助金の申請書に含める必要があります。計画段階では、地元のロータリアンや学友が貴重なアドバイスを提供してくれます。

*グローバル補助金の提唱者が現金拠出金を財団に送る場合、手続きにかかる費用として5パーセントを追加して送金する必要があります。

災害救援補助金

ロータリー災害救援補助金は、過去6カ月間に自然災害により被災した地域における救援および復興活動を支援します。被災地にあり、ロータリー補助金の参加資格認定を受けている地区は、25,000ドルを上限として補助金を申請できます（ただし災害救援基金の残額状況に基づきます）。地区は、以前の災害救援補助金の報告書が提出済みである場合に限り、追加の補助金を申請できます。補助金の資金は、水や食料、医薬品、衣服といった基本的な物資を提供するために使用できます。申請する地区は、被災地のニーズを特定する責任があります。これらの地区はまた、特定したニーズに補助金を充てるために、地元当局や地元団体と緊密に協力するべきです。

重点分野

グローバル補助金による活動（人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チーム）はすべて、ロータリー財団のいずれかの重点分野についてあらかじめ定められた目標をめざすものであることが条件とされています。

- 平和構築と紛争予防
- 疾病予防と治療
- 水と衛生
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 地域社会の経済発展

各重点分野の具体的目標については、重点分野の基本方針をご参照ください。

参加資格認定と資金管理

地区による手続き

地区補助金とグローバル補助金に参加するには、地区がオンラインで参加資格認定手続きを行う必要があります。この手続きでは、地区が「地区の覚書（MOU）」に記載された財務と資金管理の要件を満たすことに同意します。また、地区内クラブの参加資格を認定するプロセスの一環として、地区が補助金管理セミナーを実施します。

クラブによる手続き

クラブがグローバル補助金を利用するには、毎年、地区から参加資格認定を受ける必要があります。認定要件として、地区の実施する補助金管理セミナーにクラブの代表者を派遣し、「クラブの覚書（MOU）」に署名してこれを順守し、地区によって定められたその他の要件がある場合は、それも満たす必要があります。

補助金の申請プロセス

クラブと地区は、参加資格の認定を受けた後、補助金センター（オンライン）から地区補助金およびグローバル補助金の申請を行うことができます。8月、9月、10月のいずれかの月に留学を開始するグローバル補助金奨学金の申請は、6月30日までに財団に提出する必要があります。また、旅行を含む申請書は、旅行日の90日前までに提出する必要があります。

災害救援補助金を申請するには、地区ガバナーと地区ロータリー財団委員長がロータリー災害救援補助金申請書に記入し、grants@rotary.org に提出します。

報告要件

地区補助金資金の支出について記載した最終報告書を、補助金受領後12カ月以内、または最後の支払を受領してから2カ月以内に、財団に提出しなければなりません。グローバル補助金と災害救援補助金の提唱者は、最初の中間報告書を、補助金の最初の支給を受けてから12カ月以内に提出する必要があります。その後の中間報告書は、前回報告書の受理日から12カ月が期限となります。最終報告書は、プロジェクトの完了後2カ月以内に提出する必要があります。地区補助金とグローバル補助

金の報告書は、補助金センターを通じて提出し、災害救援補助金の報告書はgrants@rotary.orgにお送りください。

関連リソース

- 「寄付推進＆補助金」ニュースレター：ファンドレイジング（寄付推進）と補助金に関する情報を四半期ごとに紹介。
- グローバル補助金ガイド：グローバル補助金の管理に関するクラブと地区のための参考資料。
- 地区を成功に導くリーダーシップ：ロータリー財団委員会編：地区補助金を含む財団活動に関する地区リーダー向けの参考資料。
- 補助金管理セミナー学習プラン：クラブと地区がグローバル補助金を申請し、管理する上で役立つ情報を提供するラーニングセンターの9つのオンラインコース。
- 地域調査の方法：地域社会のニーズを調べるための方法を紹介。
- プロジェクト向上プロセス：よくある質問：グローバル補助金プロジェクトの改善に地元専門家やリソースを活用するための情報。
- プロジェクトの流れ（ライフサイクル）：グローバル補助金プロジェクトの各段階に役立つ情報を紹介。
- 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件
- 重点分野の基本方針

ロータリー学友

ロータリー財団は、その長い歴史の中で、奨学金や職業交換など、さまざまなプログラムを通じて129,000人以上を支援してきました。ロータリーの「学友」とは、これらのプログラムに加え、ローターアクト、インターアクト、青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の元参加者や、各地で提供される奨学金（米山記念奨学金など）の受領者も含んでいます。

才能と熱意のある学友は、ロータリーについての知識があり、国際理解と世界平和を促進するロータリーのビジョンを共有する人びとです。世界中の地域社会に貢献したいと望んでいる学友は大勢おり、地元や海外の奉仕プロジェクトにボランティアとして参加したり、将来、ロータリー会員や財団への寄付者となる可能性もあります。さらに、ロータリーの行事で講演を行うこともできます（学友からの参加や協力を得たいと考えているクラブは、地区学友委員長にご連絡ください）。

関連リソース

- ロータリー最優秀学友会賞 推薦書式
- ロータリー最優秀学友会賞パンフレット：過去の受賞学友会を紹介
- ロータリー学友世界奉仕賞 推薦書式
- ロータリー学友世界奉仕賞パンフレット：過去の受賞学友を紹介
- 学友の襟ピン：学友のための襟ピン
- 学友会の「よくある質問」：ロータリー学友会に関する基本情報
- 学友ツールキット：学友と協力するロータリアンのための情報

rotary.org/ja/alumniから、さらに多くの情報とリソースをご覧ください。

財団の資金

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています。ロータリーの慈善部門である財団は、時間、資金、知識を生かして活動するロータリアンの世界的ネットワーク、そして優先活動（ポリオ根絶や平和の推進など）における専門的知識を通じて、世界のニーズに応えています。

年次基金（シェア）

地元や海外で実施されるロータリー財団の幅広い活動を支援する主な資金源です。

「Every Rotarian, Every Year」の寄付推進活動は、以下の取り組みを通じて、年次基金の支援をロータリアンに促すことを目的としています。

- 毎年、財団の年次基金に寄付することを奨励する
- 毎年、財団のプログラムや補助金に参加することを奨励する

ロータリー財団への寄付は、シェアシステムを通じて、人びとの生活をより良くするためのプロジェクトを支える補助金となって活用されます。

地区内のクラブから寄せられた年次基金（シェア）への寄付は、次の２つの資金に分けられます。

- 50パーセントがWF（国際財団活動資金）へ
- 50パーセントがDDF（地区財団活動資金）へ

財団は、地区が参加できる国際的な補助金やプログラムにWFを使用します。一方、地区は、地区が選んだ財団プログラムや活動にDDFを配分できます。

財団では、寄付の３年後に、その資金をプログラムに使用する独自の３年周期システムを採用しています。地区は、この３年間に、十分な時間をかけてプログラムの計画や参加者の選考を行うことができます。例として、2019-20年度に行われた寄付の50％を、2022-23年度に使用することができます。

DDFの使途は、地区財団委員会が、クラブの意見を取り入れた上で決定します。地区は、DDFおよび恒久基金への寄付から生じた利用可能な収益の50パーセントまでを地区補助金として申請できます。地区は、DDFのいかなる額でもグローバル補助金に使用、または寄贈することができます。寄贈する場合は、ポリオプラス、ロータリー平和センター、恒久基金への大口寄付推進計画、WF、災害救援、または他地区に寄贈できます。

DDFは、各地域の重要なニーズに取り組むプロジェクトを行うのに最適です。年次基金（シェア）へのご寄付は将来に利用可能なDDFをもたらします。クラブと地区は、ロータリークラブ・セントラルで寄付目標を設定し、進捗を確認・記録すべきです。

シェア以外にも、WF、災害救援、またはロータリーの６つの重点分野のいずれかを指定して年次基金に寄付することができます。WF、災害救援、重点分野を指定した年次基金への寄付は、クラブの年次基金寄付目標と一人当たりの平均寄付額を計算する際に含められますが、DDFは生じません。同様に、年次基金への寄付認証対象となります（「Every Rotarian, Every Year」、「財団友の会」会員、ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティ）。クラブ認証においても、この寄付が算入されます。

災害救援基金には、現金またはDDFを寄贈することができます。この基金は、災害救援を目的とした一般的な基金であり、寄付・寄贈を行うにあたって特定の災害を指定することはできません。

年次基金（シェア）へのご寄付は、財団補助金の主な資金源であるため、強く奨励されています。

恒久基金

恒久基金は、未来においても末永く、持続可能なプロジェクトの実施を可能にするものです。恒久基金への寄付は投資され、その元金が支出されることはなく、投資から生じた収益が毎年度、世界各地の地域社会で生活の質を改善する財団補助金やプログラムに充てられます。

恒久基金への寄付は以下のような形で行うことができます。

- 現金、投資、そのほかの資産
- 生涯年金寄付（残余公益信託、贈与年金、共同出資収益基金など）

- 遺言や資産計画による遺贈
- 保険、年金、そのほかの金融受益者の指定

ご寄付の方法

寄付の送金

ご寄付は、rotary.org/ja/donateからクレジットカードで行えます。または、My ROTARYからダウンロード可能な「ロータリー日本財団 寄付送金明細書（ロータリアン／クラブ用）」をご利用ください。

不動産や証券など現金以外でのご寄付については、RI日本事務局財団室（問合せ先：RIJPNTRF@rotary.org）までお問い合わせください。

ご寄付の際には、必ず会員ID番号をご明記ください（寄付の記録と認証のために必要となります）。

自動定期寄付

定期的（毎月、四半期ごと、年1回）に決まった額をご寄付いただく方法です。自動的にご指定のクレジットカードで決済されますので、事務的な手間をかけずに継続してロータリー財団とその活動を支援できる方法です。設定はウェブサイトのこちらのページをご利用ください。

寄付者は、オンラインでいつでも定期寄付の設定を変更またはキャンセルできます。My ROTARY（ログインが必要）から寄付者専用ページに進み、定期寄付の変更を行えるようになります。ご質問がある場合は、日本事務局経理室にご連絡ください。

クラブ会員の寄付をまとめて送金

「Every Rotarian, Every Year」とは、個人的な寄付を通じて、みんなでロータリー財団を支援しようというメッセージです。複数のクラブ会員の寄付をまとめて送る場合は、ロータリー日本財団寄付送金明細書（ロータリアン／クラブ用）を使用できます。寄付の認証と領収証の発行は個別に行われます。公益財団法人ロータリー日本財団を通じて寄付を送金することで、日本の税制上の優遇措置を受けることができます。各寄付者の認証と領収証の発行が行われたかどうかの確認は、寄付送金明細書の記入者が行います。

寄付の提出に関する注意事項：

- 寄付者の氏名と寄付額を提出前に再度確認します。
- 寄付を確認し、その際に寄付額を含めます。寄付者の寄付内容と領収証を受け取れるかどうかを確認します。
- 寄付者の認証が適切に行われるよう、会員ID番号を提供します。
- 複数の人の寄付をまとめて送る明細書は、慈善の寄付が税金に関わる個人的な決定であり、寄付者の知識や関与がなければ決定できないことにご留意ください。
- 慈善目的のラッフルと呼ばれるくじ引き大会やゲームからの収益は、個々の会員ではなく、クラブからの寄付としてロータリー財団に提出するのが最善です。クラブや地区による寄付とすることで、個人に対する誤った領収証の発行を避けることができ、ロータリー財団へのリスクを最小限にできます。

記念寄付、追悼寄付

ロータリー財団では、誰かを称えるため、または追悼を表するための寄付を行うことができます。my.rotary.org/ja/donateのページで「記念寄付または追悼寄付をしたい」の部分に印を付けてください。この方法による寄付を行う人が認証対象となり、領収証が発行されます。記念寄付を行う相手、または追悼寄付の場合はその家族に、寄付が行われたことが通知されます。通知方法はEメールか自分で印刷して送る方法があります。

税制上の理由から、記念寄付・追悼寄付の相手を「寄付者」として、寄付を行うことはできません。寄付の名義人となる人は、寄付を行わないで領収証を受理することになり、当人およびロータリー財団を法的リスクにさらすことになります。

ほかの人を対象とする財団認証について詳しくは、「ポール・ハリス・フェロー」と「認証ポイント」の項目をご覧ください。

ご不明な点がありましたら、memorials@rotary.orgにお問い合わせください。

従業員寄付へのマッチング（上乗せ）寄付

「マッチング寄付」とは、従業員が行う慈善寄付に対して、雇用主が上乗せして寄付をし、従業員による寄付の機会を支援するものです。北米でのマッチング寄付プログラムについては、matchinggifts.com/rotaryをご覧ください。

関心のある企業がございましたらRI日本事務局財団室（問合せ先：RIJPNTRF@rotary.org）までお知らせください。

雇用主が上乗せを行った場合、その認証対象は雇用主となり、領収証が発行されます。

ロータリーのクレジットカード

ロータリーのクレジットカードをご利用ください。カードをご利用いただくことで、購入額のうち一定の割合がロータリーのポリオ根絶活動への支援に充てられます。その際、カード利用者の追加負担は一切ありません。詳しくは、ウェブサイトの「ロータリーのクレジットカード」のページをご覧ください。ロータリー財団は、2000年にクレジットカードプログラムを開始して以来、このプログラムを通じて860万ドル以上を受領し、そのうち460万ドルがポリオ根絶の支援に充てられています。

フェイスブックを用いたロータリー財団のためのファンドレイジング

フェイスブックでは、ロータリーへの寄付とするための資金を募ることができます。寄付先となる非営利団体としてRotary International（国際ロータリー）またはEnd Polio Nowのいずれかをお選びください。Rotary Internationalのページから受領された資金は、最も緊要なニーズに使用されるWF（国際財団活動資金）を支援します。End Polio Nowのページから受領された資金は、ポリオ根絶活動に充てられます。

フェイスブックを通じた寄付は、その他のロータリー外部のプラットフォームと同様に、一つにまとまった寄付とみなされ、個人によるロータリー財団への寄付とはみなされません。また、ロータリー日本財団の税制上の優遇措置は受けられません。ご寄付による認証と税制上の優遇措置を受けることを希望される場合は、ロータリーのウェブサイトから日本円でご寄付ください。

関連リソース

- ロータリー財団基本コース：オンラインのラーニングセンターにあるコースで、ロータリー財団の基本情報を提供。
- 寄付推進＆補助金ニュース：ファンドレイジングと補助金に関する情報を掲載した、四半期に1度のニュースレター。
- 「Every Rotarian, Every Year」パンフレット：クラブ会員への配布用。ロータリアンがロータリー財団の補助金や活動に参加し、また財団を支援することの重要性を伝えるパンフレット。
- 「平和の願いはきっとかなう」パンフレット：ロータリー平和センターの概要と冠名基金の機会を紹介。
- 「ロータリーへの遺贈」パンフレット：遺贈を含む恒久基金への寄付、「遺贈友の会」への入会などについて説明したパンフレット。
- 「明日を支えるご支援：ロータリーへの遺贈」パンフレット：恒久基金と遺贈に関する詳しい情報を掲載し、複数の寄付者のメッセージを紹介。
- 「ロータリーの恒久基金」のページ：恒久基金の概要情報のほか、遺贈に関心がある人がその旨をロータリーに伝えるためのオンラインフォームへのリンクを掲載。
- 「計画寄付」のページ：　遺言や公益信託など、計画寄付に関する情報を掲載。
- ロータリークラブ・セントラル：会員増強、財団への寄付、奉仕プロジェクト、若いリーダーの参加、公共イメージ、会長賞など、クラブの各種目標を設定し、達成に向けた進捗を確認・記録できるオンラインツール。
- DDFのベストプラクティスに関するパンフレット：DDFの使用を最大化するための計画と実施において地区が取るべきステップを紹介。

財団での認証

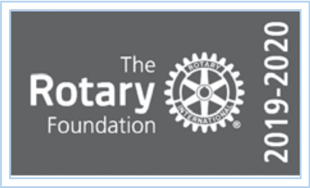
ロータリー財団では、補助金やプログラムの支援者（個人）に感謝の意を表するため、さまざまな機会を設けています。

My ROTARYの「寄付者履歴レポート」で、各自の寄付歴と認証歴を見ることができます。このレポートはEメール（rotarysupportcenter@rotary.org）で取り寄せも可能です。

個人の認証

ロータリーのリーダーは、各種認証に向けた寄付状況を確認するために、個人やクラブレベルの寄付状況をMy ROTARYまたはロータリークラブ・セントラルから見ることができます。

「財団の友」会員



年次基金に毎年100ドル以上を寄付する方（個人）が「財団の友」会員となります。この寄付は、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、クラブのバナー認証の対象ともなります。ロータリーの名札に付ける「財団の友」会員ステッカーもご活用ください。「クラブバナーレポート」で「財団の友」会員を調べることができます。

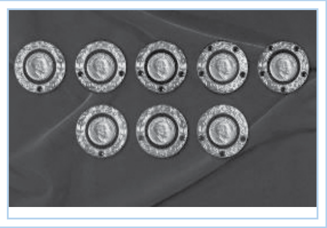
ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー（PHF）は、年次基金、ポリオプラス基金、あるいは財団が承認したグローバル補助金へ、累積1,000ドル以上を寄付した個人に感謝を表すため（または認証ポイントを使ってほかの個人を称えるため）の認証です。認証は、認定状と襟ピンの贈呈をもって行われます。記念メダル（15ドル）や認定状用の特製カバー（無料）などの追加の認証品も、ロータリーオンラインショップ（shop.rotary.org）からご注文いただけます。「クラブ認証概要レポート」で、ポール・ハリス・フェローとなっている会員を調べることができます。

感謝状

時に、企業や組織への感謝を示す目的で寄付が行われる場合があります。この場合、ポール・ハリス・フェローの認証は個人のみを対象としているため、代わりとして企業や組織には感謝状が贈られます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証は、最初の1,000ドルの後に累積した寄付1,000ドルごとに授与されます。認定は、寄付額のレベルに相当する宝石の付いた襟ピンの贈呈をもって行われます。

レベル	範囲*	襟ピン
+1	2,000～2,999ドル	サファイア1粒
+2	3,000～3,999ドル	サファイア2粒
+3	4,000～4,999ドル	サファイア3粒
+4	5,000～5,999ドル	サファイア4粒
+5	6,000～6,999ドル	サファイア5粒
+6	7,000～7,999ドル	ルビー1粒
+7	8,000～8,999ドル	ルビー2粒
+8	9,000～9,999ドル	ルビー3粒

*認証のために、現金寄付額と認証ポイントを合わせることができます。

ポール・ハリス・ソサエティ

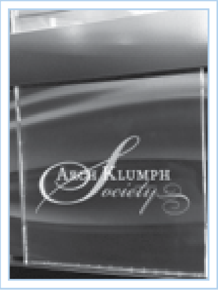
ポール・ハリス・ソサエティは、年次基金、ポリオプラス基金、あるいは財団が承認したグローバル補助金へ、毎年度1,000ドル以上を寄付する方（個人）を認証するプログラムです。入会者には紋章型のピンと感謝状が贈られます（このピンは地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターから入手できます）。ポール・ハリス・ソサエティ会員は、ポール・ハリス・ソサエティ・レポートに記載されます。

メジャードナー

寄付の指定条件を問わず、寄付の累計が10,000ドルに達した個人または夫妻が「メジャードナー」となります。この認証は、財団認証ポイントによってではなく、寄付額に応じてのみ行われるものです。メジャードナーは、各レベルに応じた認証品（クリスタル）と襟ピンを受け取ることができます（任意）。「メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート」で、メジャードナーとなっている会員を調べることができます。

レベル	範囲
1	10,000〜24,999ドル
2	25,000〜49,999ドル
3	50,000〜99,999ドル
4	100,000〜249,999ドル

アーチ・クランフ・ソサエティ



250,000ドル以上の寄付を行った寄付者は、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなります。国際ロータリー世界本部17階のアーチ・クランフ・ギャラリーに肖像写真が飾られ、タッチスクリーン式の案内板で略歴とビデオが紹介されます。また、同様の案内板は、ロータリーの国際イベントでも展示されます。新会員は特別な入会式に招待されます。「メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート」で、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなっている会員を調べることができます。

管理委員会サークル：250,000〜499,999ドル
管理委員長サークル：500,000〜999,999ドル
財団サークル：1,000,000〜2,499,999ドル
管理委員会プラチナサークル：2,500,000〜4,999,999ドル
管理委員長プラチナサークル：5,000,000〜9,999,999ドル
財団プラチナサークル：10,000,000ドル以上

ベネファクター

資産計画にロータリー財団を受取人として指定したことを書面にてロータリー財団に通知するか、恒久基金に1,000ドル以上の現金寄付を行った方が、「ベネファクター」となります。認証状、およびロータリーやポール・ハリス・フェローの襟ピンとともに身につける記章が贈呈されます。「ベネファクターレポート」と「クラブ認証概要レポート」で、ベネファクターとなっている会員を調べることができます。

遺贈友の会

資産計画において恒久基金に対する10,000ドル以上を誓約した個人または夫妻が「遺贈友の会」会員となります。寄付者は、各レベルに応じた特典や機会があります。

10,000ドル：　遺贈友の会襟ピンと額に入れることができるアート作品が贈られます。

25,000ドル：　Rotary's Promiseのクリスタルと冠名基金設立

50,000ドル：　冠名基金設立

100,000ドル：　カスタマイズされたRotary's Promiseのクリスタル

250,000ドル：　故人のアーチ・クランフ・ソサエティへの入会

500,000ドル：　ロータリー国際大会での特別席や登録に関する特典

レガシー・ソサエティ

恒久基金に100万ドル以上の寄付を誓約された方またはご夫妻は、レガシー・ソサエティにご入会いただけます。ロータリーの年次報告にお名前が記載されるほか、国際ロータリーとロータリー財団の特別行事に招待されます。また、特別な認証品が贈られ、遺贈友の会会員のための特典すべてが与えられます。

クラブの認証

ロータリー財団では、補助金やプログラムを支援するクラブに感謝の意を表するため、さまざまな機会を設けています。

クラブのバナー認証レポートでは、100%財団寄付クラブ、「Every Rotarian, Every Year」クラブ、年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブの表彰に向けた、現ロータリー年度のクラブの寄付状況を確認できます。

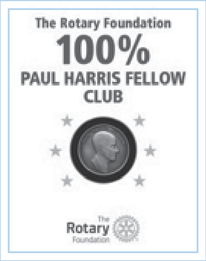
2015-16年度現在、新会員（現ロータリー年度に入会または他クラブから移籍した会員）は、クラブバナー認証の要件に含まれません（100%ポール・ハリス・フェローのバナーを除く）。ただし、クラブの一人当たりの寄付額の計算には、新会員からの寄付も含まれます。

「クラブのバナー認証レポート」に記載された認証クラブは変わることがあります。これは、年間を通じて会員数が変わったり、新たな寄付が行われたりするためです。クラブが年次バナー認証の資格を満たしたかどうかを調べる際に、このレポートを参照することができます。認証バナーは、ロータリー年度の終了（6月30日）の後に手続きが行われ、10月か11月に現ガバナーに送付されます。クラブバナーレポートのご要請はrotarysupportcenter@rotary.orgまでご連絡ください。

100%ロータリー財団寄付クラブ

この認証は、1年度に、一人あたりの平均寄付額が少なくとも100米ドルに達し、会費を支払っているすべての会員が、寄付先（年次基金、ポリオプラス基金、承認されたグローバル補助金、恒久基金）を問わず25ドル以上を寄付したクラブに対して行われます。

100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ



このバナー認証を受けるには、地区ガバナーが認証を申し込む時点で、会費を支払っているすべての会員がポール・ハリス・フェローになっていなければなりません。1度限りの認証ですが、クラブはその後も100%ポール・ハリス・フェローの状態を維持することが期待されます。

認証の申し込み方法：

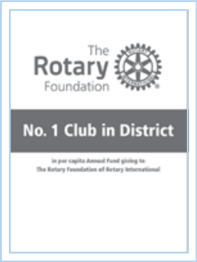
1. 会費を支払っているすべての会員がポール・ハリス・フェローであることを確認した後、クラブ代表者が地区ガバナーに連絡。

2. 地区ガバナーが「クラブ認証概要レポート」でクラブ全会員がポール・ハリス・フェローとなっていることを確認した後、ロータリー財団にEメール（rotarysupportcenter@rotary.org）で連絡。

「クラブ認証概要レポート」の上部に、クラブが100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ認証バナーを受け取ったかどうか（受け取った場合は認証日も含む）が記載されています。

100%「Every Rotarian, Every Year」クラブ

このバナーは、1年度に、年次基金への一人あたりの平均寄付額が少なくとも100ドルに達し、会費を支払っているすべての会員が年次基金に25ドル以上を寄付したクラブに贈られます。



100% Rotary's Promiseクラブ

全会員が恒久基金を支援しているクラブは、「100% Rotary's　Promiseクラブ」の表彰状（電子ファイル）を要請することができます。ロータリー財団への寄付の誓約の場合、資産計画または恒久基金への1,000ドル以上の寄付が認証対象とみなされます。

年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ

このバナーは、各地区内で、年次基金への一人当たりの寄付額が上位3位に入ったクラブに贈られます。資格を得るには、クラブの一人あたりの平均年次寄付額が最低50ドルである必要があります。

100%ポール・ハリス・ソサエティ・クラブ

このバナーは、1年度に、会費を支払っているすべての会員が、年次基金、ポリオプラス基金、承認されたグローバル補助金のいずれかに少なくとも1,000ドルを寄付したクラブに贈られます。

「End Polio Now：歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンの感謝状

2013年7月1日から2023年6月30日まで、ロータリーのポリオプラス基金に毎年1,500ドル以上を寄付したクラブに贈られます。

ローターアクトの寄付への感謝状（電子ファイル）

1年度に合計で少なくとも50ドル寄付した会員が5名いるローターアクトクラブに、感謝状が贈られます。寄付者は、ローターアクトクラブの会員として登録されている必要があります。寄付は合計で50ドル以上とし、いずれの基金にも行うことができます。

認証ポイント

認証ポイントは、年次基金、ポリオプラス基金、承認されたグローバル補助金のいずれかに寄付をした人に、1ドルにつき1ポイント与えられるものです。ただし、恒久基金への寄付は認証ポイントの対象となりません。

寄付者は、認証ポイントを移譲して、ほかの人をポール・ハリス・フェロー、またはマルチプル・ポール・ハリス・フェローにすることができます。認証ポイントは、寄付者が亡くなるまで、あるいは寄付者がポイントを使用するまで、本人の保有ポイントとみなされます（寄付者がメジャードナーの場合は、存命している配偶者がポイントを使用できます）。

留意事項：ポール・ハリス・ソサエティまたはメジャードナーの認証のために認証ポイントを使うことはできません。

移譲の方法

一度に移譲できるのは100ポイント以上となります。

「ポール・ハリス・フェロー認証ポイント使用申請書」にご記入の上、ご本人が必ずご署名ください。

留意事項：個人からクラブ／地区へ認証ポイントを移譲することはできません。また、寄付者は、認証ポイントを得るために、ポール・ハリス・フェローである必要はなくなりました。

関連リソース

- Every Rotarian, Every Year：「財団の友」会員ステッカー
- Every Rotarian, Every Year」パンフレット：年次基金とシェアに関する情報を掲載。
- ポール・ハリス・ソサエティ　パンフレット：ポール・ハリス・ソサエティ・プログラムの推進用パンフレット。

- ご支援がかたちになるとき：各重点分野へのご寄付がもたらす影響について概説。
- ロータリーへの遺贈の意思を伝える書式：恒久基金、遺贈、冠名の機会に関する情報が含まれ、遺贈の意思を伝えるカード。
- 「明日を支えるご支援：ロータリーの遺贈」パンフレット：恒久基金と遺贈に関する詳しい情報を掲載し、複数の寄付者のメッセージを紹介。
- アーチ・クランフ・ソサエティ パンフレット：アーチ・クランフ・ソサエティについて紹介。
- 財団認証ポイントについて：認証ポイントに関するよくある質問とその回答。
- Rotary.orgまたはロータリークラブ・セントラルから見ることができるレポート：

  メジャードナー／アーチ・クランフ・ソサエティ／遺贈友の会レポート

  ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターのレポート

  クラブバナーレポート

  財団バナーレポート

一般リソース

MY ROTARY

ロータリーウェブサイトのMy ROTARYでは、ロータリーの活動や運営をサポートするさまざまなリソースが提供されています。各種フォーム（書式）やツールは、「クラブの運営」または「地区の運営」のページをご覧ください。まだMy ROTARYにアカウントを登録していない方は、ぜひアカウント登録を行ってください。そのほかにも、My ROTARYでは以下を行うことができます。

- ロータリークラブ・セントラルから、クラブの会員増強／奉仕プロジェクト／財団への寄付を確認
- 財団への寄付
- 財団の活動情報を入手
- 「アイデア応援サイト」を通じてプロジェクトのボランティア、協力者、寄付、寄贈物資を募集
- 「補助金センター」を通じて補助金を申請
- 「寄付者履歴レポート」で自分の寄付履歴と認証に関する情報を確認
- 「ロータリーショーケース」でプロジェクトの成果を紹介

レポート

ロータリーのリーダーは、My ROTARYまたはロータリークラブ・セントラルから次のレポートを閲覧できます。また、RI日本事務局に資料請求していただくことも可能です。

財団寄付に関するレポートは、ロータリーにおける妥当な目的においてのみ使用すべきであることにご留意ください。これらのレポートを使用することにより、利用者は、データの使用とプライバシーに関するロータリーの方針に従うことに同意したものとみなされます。レポートを利用するリーダーは、ラーニングセンターにある個人データの保護のコースを受けることが強く奨励されています。

寄付に関するレポート

ロータリーのリーダーは、以下のレポートを利用できます。

レポート	内容	対象
寄付者履歴レポート	個人の寄付に関する情報を記載(財団認証ポイントの移譲、誓約、認証を含む)。寄付と認証について確認する際に参照。	個人
クラブバナーレポート	現年度のEREYやその他の財団の認証レベル到達日を記載。	クラブ、地区
クラブファンドレイジング分析	5年間の年次基金目標、寄付、認証に関する情報を記載。目標設定を行う際に参照。	クラブ、地区
クラブ認証概要レポート	寄付者のポール·ハリス·フェロー・レベル、認証額、財団認証ポイント、定期寄付への参加、ベネファクター、前回の寄付日と寄付指定先、100%ポール・ハリス·フェロー・クラブの達成と日付、クラブの寄付、寄付ゼロクラブに関する情報を記載。	クラブ、地区
月次寄付レポート	年次基金、そのほかの基金（グローバル補助金、ポリオプラス）、恒久基金へのクラブの寄付状況に関する情報を記載。	クラブ、地区
ポリオプラスレポート	クラブと基金ごとの寄付情報を提供。	クラブ、地区
シェア指定寄付レポート	各クラブの年次基金（シェア）の寄付状況と、特定年度のDDF情報を提供。	クラブ、地区
財団バナーレポート	クラブバナーの認証（年次基金への一人当たりの寄付額上位3クラブ、100%財団寄付クラブ、100%EREYクラブ）に向けた進捗を記載。財団寄付とEREYの認証についてクラブの参加状況を表示。	地区
ポール・ハリス・ソサエティ・レポート	ポール・ハリス・ソサエティの会員と資格に関する過去4年間の情報を記載。寄付者の連絡先のタブを含む。	クラブ、地区
地区ファンドレイジング分析	5年間の年次基金と恒久基金への地区からの寄付状況、寄付総額を記載。ポール・ハリス·ソサエティの有資格者、メジャードナー、大口寄付、ベネファクター、遺贈友の会会員の累積数を表示。認証ポイントおよび冠名基金とその市場価値の合計を表示。	地区

レポート	内容	対象
メジャードナーと遺贈友の会のレポート	遺贈友の会とレガシー・ソサエティの会員リスト、およびメジャードナーと認証日を記載。郵送先住所を表示。	クラブ、地区
ポール・ハリス・フェロー／ベネファクターのレポート	ベネファクター、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、感謝状を受けた人、その認証日および郵送先住所を表示。	クラブ、地区
プログラム参加者と学友のレポート	地区の現・元プログラム参加者のリスト。	地区
地区で利用可能なDDFレポート	DDFの状況（移譲、補助金、返納額、未使用額）と最近の業務日の時点で利用可能な推定残高を表示。	地区
年度の基金状況レポート	恒久基金（シェア）の利用可能な収益によるDDFを表示。	地区

補助金に関するレポート

会員であればどなたでも以下のレポートを利用できます。

レポート	内容
補助金の詳細レポート	特定の補助金に関する詳細を表示。
補助金の場所に関するレポート	選択された国で実施されているすべてのグローバル補助金を表示。
補助金への参加レポート	グローバル補助金および地区補助金へのクラブ、地区、ゾーン別の参加情報を表示。
補助金の状況レポート	選択されたクラブ、地区、ゾーンによるグローバル補助金および地区補助金の状況を表示。
提唱者別の補助金レポート	選択されたクラブまたは地区による補助金とその状況を記載（完了および取り消された補助金を除く）。
専門家グループの情報レポート	補助金計画と重点分野について援助できる財団専門家グループメンバーの連絡先情報を記載。

出版物の注文

ロータリー財団関連のリソースは、オンラインショップ（shop.rotary.org）からご注文いただくか、RI日本事務局業務推進・資料室（電話：03-5439-5802、ファクス：03-5439-0405）までご連絡ください。

お問い合わせ

寄付、認証ポイント、補助金申請の締切日など、財団に関するお問い合わせは、RI日本事務局財団室（問合せ先：RIJPNTRF@rotary.org）までご連絡ください。

地区とゾーンのためのリソース

地区ロータリー財団委員長は、地区における財団活動と募金の推進を担当します。地区財団委員長はさらに、地区補助金に関する主な連絡窓口となり、クラブの財団委員会を援助します。また、地区と地区内クラブが提唱するグローバル補助金の申請を審査、承認し、DDFの承認において地区ガバナーを援助し、地区でのロータリー財団賞の受賞者の推薦や、地区の財団目標を定める前に地区内ロータリアンの意見を集めます。

ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）は、地域内のファンドレイジングなど、財団活動全般の推進を行っています。また、ファンドレイジング目標やプログラム目標を設定してこれらを達成できるよう、地域チーム（RRFC補佐）や地区のリーダーを研修します。

恒久基金／大口寄付アドバイザー（EMGA）は、地域や地区のリーダーと密に協力し、大口寄付見込み者の特定と開拓、懇請のための個別計画を作成します。また、財団支援者を招いた行事や、寄付見込者探しを支援します。

RRFCとEMGAのリストは、ロータリーウェブサイト（Rotary.org/ja）をご参照ください。

ロータリー事務局

国際ロータリー日本事務局

〒108-0073
東京都港区三田1丁目4-28
三田国際ビル24F

The Rotary Foundation

One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
Rotary.org

219-JA—(919)